

神戸中部支部

神戸中部支部は、神戸市中央区、兵庫区、北区の3区からなり、12拠点での活動と出前隊活動を行っています。拠点場所は病院や公共施設など様々ですが、それぞれの拠点において、子どもから高齢者まで幅広く地域住民に関心を持って頂けるよう、ニーズにあった活動を工夫しています。今年度は、兵庫区にイオンモール神戸南がオープンし、新規活動を始めました。出前隊などの活動により、地域における「まちの保健室」の認知度も高まっています。今後も、活動の場を広げながら、地域住民のニーズに対応した活動ができるよう努めていきます。

三菱神戸病院

地域福祉センターや施設内で、地域住民の方を対象に健康サポートを年2回開催しています。医師による講演テーマ「長引く咳」や「緩和ケア」は、住民のニーズにあったものでした。リピーターも多く毎年熱心に参加していただき好評を頂いています。



三菱神戸病院

神戸大学医学部附属病院

出前授業による防煙教室を行っています。今年度は小学校2校、中学校4校に出向き、計874名に対してたばこがもたらす身体への影響や受動喫煙などについて授業を行いました。授業後のアンケートでは、健康への意識が高まったとの内容の意見・感想もあり、保健活動として効果的であったと評価しています。

神戸百年記念病院

施設内で開催しており、リピーターが増えています。高齢化に伴い自分のことはもちろん家族、介護の悩みなどを口にするなど、相談内容が変化しています。血管年齢・骨密度の人気の負けないように、身体と心を元気にできる「まちの保健室」を来年度は目指します。

吉田病院

地域の福祉センターやお寺等に出向き、医師による「脳卒中」や「認知症」講座で病気予防のための知識向上と、その後看護師による血圧測定・体組成チェックや健康相談を行っています。参加者は、開催を楽しみにしている高齢のリピーターが多く、地域の方々の健康意識向上に努めています。



吉田病院 講座風景

済生会兵庫県病院

院内と、近隣の商業施設で開催しています。来られる方は健康意識が高く、次回の問合わせや、楽しみにしている方も多くあり嬉しく感じています。特に血管年齢と骨密度測定が人気です。一方で、長く通院していたのに知らなかったと言われる方もいるため、「まちの保健室」の開催を認知してもらえよう、広報にも力を入れていきます。



済生会兵庫県病院 玄関にて

すずらん病院(関西スーパー レ・アール店)

健康体操教室やヨガスタジオがテナントに入っているスーパーの入口で、健康相談を中心に活動しています。参加者は65歳以上で毎回20名程度ですが、「教室に行く前に健康チェックしてくれる?」「毎日運動しているよ」と、一人ひとりと向き合い気軽に相談できる雰囲気になっていて、年々リピーターも増えています。夏から冬に不定期での活動ですが、時季に合わせたパンフレットを持参することで、健康意識を高められるよう配慮しながら活動しています。

「しあわせの村温泉入り口」神戸リハビリテーション病院

年に4回(6・8・12・2月)、「温泉の入り口前」を拠点活動の場として、体組成計及び血圧測定、健康相談を行い地域活動の貢献に励んでいます。しあわせの村に来られた際は是非、ご利用下さい。



しあわせの村 温泉入り口

川崎病院

院内で行われる行事(七夕会、看護フェア等)にあわせ開催しており、普段病院に来ない方も多く参加するため、「まちの保健室」が健康や生活に関心を持ち、振り返る「場」になっています。特にクリスマス会ではこども対象の催しが行われるため、子育て世代の方も多く、ご家族やご友人と測定結果を見比べ一喜一憂したり、日頃の生活についてお話している様子を見てみると、生活を支えるという看護師の役割を改めて認識するよい機会となっています。

神戸北町健康・子育て

商業施設のコートで、多くのボランティアが交代で参加する支部拠点として活動しています。幅広い年齢層を対象とした地域住民の心身の健康、子育て、生活習慣病予防、介護などのさまざまな不安や悩みを、ゆっくり語れる「場」を提供し、気軽に健康に関する相談に応じています。



神戸北町コープデイズ

出前隊活動について

地域包括支援センター等より依頼をうけて出前隊での活動を行っています。今年度より出前隊の依頼が多い時期に委員会を開催し、ボランティアを募集したことで、経験の浅いボランティアの活動機会につながりました。経験がなくても安心して活動に参加できるように、支部独自の出前隊マニュアルを作成しています。また、出前隊で使用する物品をまとめてバックに入れ、出前隊リーダーが持って活動に参加しています。今後、出前隊マニュアルとバックを活用し、多くのボランティアが出前隊活動に参加し、スキルアップを図れるようにしたいと思います。